

# 新山協ニュース

新潟県山岳協会ホームページ <http://www.echigo.ne.jp/~nma/>

会長 阿部信一  
TEL 025-273-1572

事務局 井村健一  
新潟市北区すみれ野2-10-12  
TEL 025-259-7152

会報・編集委員会代表  
浅野巨寛  
長岡市金町2-2-17  
TEL 0258-52-3998

## 新潟県山岳協会 平成22年度 第8回最後の理事会開催される

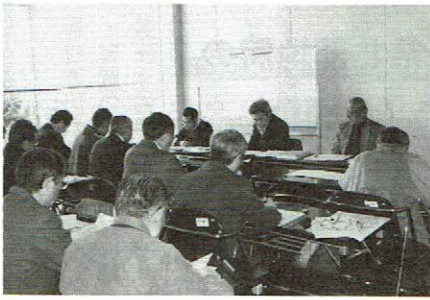
日時 平成23年3月19日(土)  
10時から16時まで

場所 長岡市中央公民館  
404教室(長岡市柳原町)

電話 0258  
(32) 0437

### 出席者

- (会長) 遠藤家之進 正和
- (副会長) 阿部 信一
- 片桐 一夫 / 渡邊 正之
- (理事長) 森 庄一
- (常務理事) 遠藤 俊一
- 浅野 巨寛 / 本間 一人
- 井 春文 / 小林 重一



今井浩二  
(理事) 五十嵐和則

伊藤 明德 / 伊藤 直  
桜井 正一 / 嶋原 哲也  
鈴木 勝利 / 宮崎 幸司  
後藤 邦子  
(事務局長) 諏訪 恵一

(顧問) 橋本 正巳  
(参与) 山田 智子  
七沢恭四郎 / 高橋 正英  
(監事) 外山 禎一

横山 征平 計26名  
◇ ◇ ◇

1 開会 10時 理事長  
により開会が宣言され、理事  
長の進行により審議が開始さ  
れた。

2 挨拶 遠藤会長によ  
り現役員体制での最後の理事  
会であり次年度以降の発展の  
ため真剣な討議を願う旨の挨拶  
があった。

3 議事 地震の犠牲者に対し黙禱を行っ  
た。

第1号議案 平成22年度事業

報告について  
第2号議案 平成22年度決算  
報告について  
第1号議案、第2号議案は  
関連するため、専門委員会ご  
とに報告を行った。

質疑 分担金未納団体  
5~6団体あり督促する。  
年度未納付の見込み。  
・残額が多い積立等の考えは、  
単年度収支は赤字であり別途  
積立ては無理。

・単年度赤字が継続している  
が対策は、・会費上げを検討  
したが現状維持となった。  
決算額を補正の上承認され  
た。

第3号議案 平成23~24年度  
役員人事について 阿部副  
会長  
役員(案)が示された。

質疑  
・顧問 会長の諮問に応じ意  
見を述べる立場。会長の考え  
が基本。  
・副会長 業務の専門化に合  
わせて地区別によらず選任し  
た。

理事就任依頼中で未回答の  
3名を含め役員(案)は承認  
された。(高体連所属は高体  
連に確認する。)

第4号議案 平成23年度事業

計画について  
第5号議案 平成23年度予算  
について  
第4号議案、第5号議案は  
関連するため、専門委員会ご  
とに報告を行った。

質疑 通信費の圧縮  
・ニュースのPDF化ができ  
ればメール送信可能、ほか通  
信費の圧縮検討継続する。  
委員会行事と協会補助

・協会事業を委員会行事とし  
単独経理を計っているが不足  
額を協会補助として予算計上  
する考え。  
予算額数値を補正の上承認  
された。

その他 連絡事項等  
専門委員会委員名簿  
・名簿の補正、メールアドレス  
記入の上、3月末着で事務  
局長に提出すること。

青海省登山協会との兄弟協定  
20周年事業  
・記念行事、記念登山要領を  
評議員会で発表募集する。

群馬岳連「谷川の日」制定の  
動向  
・資料配布

「長野県山岳連盟」は日山  
協加盟の「長野県山岳協会」  
とは全く関わりのない団体で  
ある。

東北・関東大地震関係

・ 日山協理事会・総会、競技委員総会の延期。

・ 震災募金の実施 日山協の動向も確認しながら、評議員会で募金を始める。

・ 日山協遭難対策委員会から登山自粛の呼びかけ 良識ある行動をお願いする。

・ 中国青海省「鄧海平」氏からのお見舞いメール、韓国晶元山岳会からお見舞い状が届いた。

平成23年度委託契約説明会

・ 理事長、総括責任者、事務局長の出席が求められている。諏訪事務局長への感謝状贈呈について

・ 10年の永きに渡り事務局長を勤められた諏訪事務局長に、評議員会の席で感謝状を贈呈することが承認された。

4 閉会挨拶 遠藤会長が平成22年度最後の理事会として熱心な討議と協会運営の協力に対し謝辞を述べた。

5 閉会 15時40分理事長により閉会が宣言された。

◇ ◇ ◇ ◇  
理事会終了後、外山、横山両監事による専門委員会会計監査が実施された。

文責 理事長 森 庄一

## 東北地方太平洋沖地震及び長野県北部地震の義援募金へのご協力について (お願い)

去る3月11日に起こった東北地方太平洋沖地震及び長野県北部地震は、甚大な被害をもたらし、多くの被災者が悲惨な日々を送っております。本会は日本の山仲間の皆さんに被災地の復興と被災者の救援の為の義援金を呼びかけることにしました。既に義援金等の救済援助を実施している団体もありますが、本会でも独自に募金をし、最終的に日本赤十字社に寄付することにいたしました。日頃から登山を通じた国民の健康増進と青少年の健全育成を推進している本会としても、登山の普及・振興にご協力いただいている方々の惨状を救済すべく微力ながら援助したいと考えます。是非皆様のご協力をお願いいたします。

社団法人 日本山岳協会 会長 田中 文男

### 【義援募金送金方法】

- ①銀行振込み：みずほ銀行 渋谷支店 口座番号 普通預金 2550591  
口座名 社団法人 日本山岳協会
- ②郵便振替：口座記号番号 00110-5-546693 加入者名 社団法人 日本山岳協会  
※通信欄に「地震救援金」と記入して下さい。
- ③現金書留：「(社)日本山岳協会」宛て  
〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育館内 電話：03-3841-2396

平成23年度

# 新潟県山岳協会評議員会 報告

日時 平成23年4月9日(土) 13時~15時

場所 長岡市台町 「ホテルニューオータニ長岡」

出席者 (顧問) 馬場、平田、橋本。(参与) 山田。(会長)

遠藤。(副会長) 片桐、阿部、稲田、渡邊。(理事長) 森。

(常務理事) 遠藤、井、本間、小林、浅野。(理事) 五十嵐、市村、後藤、嶋原、鈴木、楡井、宮崎、伊藤。(監事) 外山、横山。(事務局長) 諏訪。

(評議員) 越後吉田/山崎、治田、柿崎/滝沢、平田。下越/佐久間、笹川。むささび/五十嵐、大場。工友会/多田。亀田/佐藤、田村。映彩/成海、太子。長岡HC/田中、茨木、高橋。いりやま/中村。峯友会/小林。JAC越後/目崎。高体連/笛木。朝路/坂井。柏崎/矢口。加茂/北沢。九期/加藤。新潟/井村。仁部。山友会/本間。新発田/清倉。楽山会/大野、木村。ゆきみ/永田、井関。

森理事長の司会で開催された。挨拶 遠藤会長

会議の前に東日本大地震被害者に対し冥福を祈り黙禱した。救援募金を行うので各自の気持ちを募金してほしい。国体後2年を経た新方針の下、新たな方向を求めて行動したい。活発な議論をお願いする。

### 海外・国内旅行、主催・手配



### ユニオン航空サービス

国土交通大臣登録旅行業第553号・JATA加盟店 (社) 日本旅行協会の会員  
本社：新潟県長岡市神前1丁目3番5号

http://www.ukj.co.jp

- ☐長岡営業所 〒940-0084 長岡市神前1丁目3番5号 (0258)33-7123  
一般旅行業取扱主任者 森 瑞樹
- ☐新潟営業所 〒950-0916 新潟県長岡市3丁目2番11号 (025)246-2266  
一般旅行業取扱主任者 中島 豊



馬場顧問の挨拶

挨拶 馬場顧問

国体協力で御礼申し上げます。大震災応援に無理のない協力を願いたい。国体の新たな改革を検討している。

議長選出

議長立候補を諮ったところ候補なく、事務局推薦により、ゆきみ山の会永田氏を議長に選出した。

議事

議長から第1号議案の報告説明を求められた。

第1号議案 平成22年度事業・

会計について諏訪事務局長が議案書を読み上げ報告した。

事業報告 専門部ごとに実施  
期日、事業・会議名、会場、

参加者概略を報告。

収支決算 収支の科目ごとに  
予算額、決算額、差額、前  
年決算額、概略を報告。

続いて監査報告を求められ、  
外山監事から監査報告がな  
された。

・審議の結果、全員の賛成  
で提案事項は承認された。

続いて第2号議案の平成23  
年度事業計画・予算について  
提案説明を求められ、諏訪事  
務局長から説明があった。

事業計画 専門部ごとに事業・  
会議名、会場、実施期日  
詳細に説明を終えた。

収支予算 収支の科目ごとに  
予算額、前年決算額、増減、  
概略を説明。  
・審査の結果、全員の賛成  
で提案事項は承認された。

第3号議案 規約変更につ  
いて

森理事長が自然保護活動  
に関する提案に至るまでの  
経過を説明・提案をする。  
・審議の結果、全員の賛成  
で報告事項は承認された。

第4号議案 役員改選につ  
いて

て

森理事長が提案に至るま  
での経過を説明・新役員案  
を提案する。

・審議の結果、全員の賛成  
で提案事項は承認された。

退任される遠藤会長から挨拶  
があった。

先輩が築いた新潟県山岳協  
会の評価を落とさないように  
努力してきた。新事業はこれ  
から進む方向を示している。  
協力に感謝する。  
・新任の阿部会長から挨拶が  
あった。

皆さんの協力を得て今から  
重責を果たしてゆきたい。国  
体も変革され興味をもたれて  
いる。加盟団体の協力のもと



諏訪事務局長に感謝状

事業推進を行ってゆきたい。

新任の高体連選出の笹木副  
会長からインターハイ登山に  
かかる経過報告を含め挨拶が  
あった。

退任する諏訪事務局長に感謝  
状の贈呈が行われた。

その他 県山協動向の情報を  
得たい要望が多いので、ホー  
ムページの充実要望の発言  
があり、今後対応したい旨  
説明があった。  
議事終了により議長退任し評  
議員会を終了する。

連絡事項を伝達する。

1. 東日本大震災の義援金募  
集に協力願いたいこと。

2. 山岳切手が発行され最初  
の10県に新潟県の妙高山が  
決まったこと。

3. 群馬岳連から7月2日を  
谷川岳の日とする申請がさ  
れているが、承知しておい  
てほしいこと。

4. 中国青海省登山協会との  
兄弟締結20周年記念事業を  
来年行う。登山を含めて参  
加者を募集しているので、  
参加希望者は小林海外登山  
委員長まで連絡願いたいこ  
と。 文責…理事長 森

登山・ハイキング・クライミング  
テレマーク&山スキー



パーマーク

長岡市西宮内2-97(長岡市役所裏通り)  
TEL0258(37)1200・FAX0258(33)1164  
●営業時間/AM10:30~PM8:00水曜日休

<http://www.parrmark.co.jp>

登山・スキー・テニスの専門店

ヒトと地球のインターフェイス



新潟市中央区堀之内南1丁目16-52 TEL(025)241-5134(4)  
営業時間/平日10:30am~8:00pm 休日10:30am~7:00pm

妙高山が山岳記念切手に!

新潟県山岳協会参与

七澤 恭四郎 (高田ハイキングクラブ)



美しく雄大な妙高山

府県から選び公平に一座ずつ採用してゆく方向。

◎ 妙高山は妙高火山群の主峰であり、日本を代表する越後の名峰である。その大きく広げた裾野は雄大な山容を形成し、別名である「越後富士」にふさわしい。

旧登山道入り口にある関山神社の社伝によれば、和銅元年(708年)裸形上人が山頂まで登り、関山権現(明治以前の呼び名)を開基したと伝えられている。信仰登山については平安の昔より親しまれており、江戸時代中ごろの宝蔵院日記に正徳2年(1712年)登拝者が1200人いたと記録されている。

また江戸時代末期尊王攘夷の志士清河八郎の日記「西遊草」

日本山岳協会の上部団体である(財)日本体育協会、(財)日本オリンピック委員会が本年、創立100周年を迎えるがその準備の会合の席で日本山岳協会の田中会長の発案で100周年の記念切手発行の運びとなった。本年9月第1回目の山岳切手の発行が決定。47都道府県で ①最も高い山 ②最も有名な山 ③登山者に最も人気のある山 ④その県を代表する山として切手にしたい山 以上を47都道

に妙高山がある、安政2年(1855年)4月12日新井の宿石川屋にて、「此の近辺は世に名高き大雪の所にて、西南に妙香山といふ高岳をひかへ、いまに白雪りんりんとして気性さむきありきまなり。」関山の宿では、「妙香山は右のわきに巍々きぎとしてそばだち、白雪玉をたたみ、げにも日本無双の大雪の地とぞ思わせる。」等が記されている。明治13年(1880年)6月4日にイギリスの外交官アーネスト・サトウが登頂し執筆した本が、翌年ロンドンで「中部及び北方旅行案内」で妙高山が紹介されている。内容は赤倉温泉村越屋に泊り、案内人一人を連れて5時半に出発、頂上には9時50分に達した。11時10分より下山し、宿には15時に着いた。途中植物観察と標本の採取等をやったとある。

明治27年(1894年)10月24日、地理学者志賀重昂によつて発行された「日本風景論」の中にも妙高は紹介されている。「越後の国中頸城郡にあり、信濃国境の北に聳ゆ。直江津鉄道北行の汽車越後の境に入り車の左窓を開けば当

面の山即ちこれなり。赤倉温泉場より登る最も利便。往復7時間にして上下し得」とある。日本山岳会初代会長小島烏水の解説では「明治27年、日清開戦の折柄、日本山岳文学史上に、忘れることのできない一書冊が現れた、それは志賀重昂氏の日本風景論である。中略……即ち志賀氏は、日本山岳のためには、恩人である、山岳会のために、間接の創設者である、勿論山岳会に、山岳会の起こるのは、むしろ必然の運命であろうが、日本風景論なかりせば、機運が、このくらいに早くは熟さなかつたかも知れないと、想像せられる理由がある。」と述べている。

◎ 名称の注釈 \*裸形上人はインドより渡来中遭難し熊野に漂着、滝を神とする自然崇拜の那智山の滝に打たれ、熊野那智大社(熊野十二権現)を祀ったとされ、山岳修験熊野信仰を全国に広めた。 \*宝蔵院は関山神社に併設していたが、明治初期の廃仏毀釈によつて取り壊された。 \*清河八郎(1830生~1863没)出羽庄内の人、幕末の東国尊攘派の志士、最近の評価では西国の志士坂本龍馬と比較して、優るとも劣らない人物である。この「西遊草」は、安政2年(1855)八郎25歳のとき母を連れて善光寺から、名古屋・伊勢・関西・四国・山陽・江戸を経由して帰郷した時の、半年間の日記であり越後を通過中の事が、詳しく書いてある。 \*アーネスト・サトウ(1843生~1929没)イギリス公使の通訳として(1862~1883)活躍、第二生麦事件・東禅寺事件・長州での四国艦隊下関砲撃事件等幕末の流れに立会い、また名だたる明治の元勳とも会っ

ている。明治11年(1878)イギリス公使館にイザベラ・バードが滞在したときは、日本の生活様式を教える。その後バードは日光・会津・新潟・山形・秋田・北海道を旅し、明治13年(1880)「日本奥地紀行」出版した。此のころサトウも見聞を広めるとともに、山も登頂する。明治16年(1883)武田兼との間に武田久吉生まれる。(1972没)植物学者・日本山岳会六代目会長・日本山岳協会初代会長・日本自然保護協会設立尾瀬の保護等に尽力した。サトウは公使としては(1895~1900)までやり、その後イギリスにおける日本の基礎を築いた。

\*志賀重昂(1863生~1927没)三河の人、地理学者でこの「日本風景論」は日清戦争・三国干渉後の発行であり、内容として、日本の風土がいかに優れているかと、日本人の景観意識の一変と近代登山の先駆けとなる手引書を書いた。新潟の山は朝日・飯豊・御神楽・守門・浅草・駒・苗場・弥彦・米山・妙高・焼山・小蓮華等が載っている。明治44年(1911)日本山

岳会名誉会員に、ウォルター・ウエストンに次いでなった。

\*小島烏水(1873生~1948没)讃岐の人、イギリス人の牧師で登山家であるウォルター・ウエストンの勧めと、日本風景論に感化され、明治38年(1905)に、高頭式・高野鷹蔵・武田久吉・梅沢親光・河田黙・城数馬とともに日本山岳会を設立する。また初代会長となり、74年の生涯に、30冊を数える貴重な著書を残している。

\*大平晟 片貝小校長であり、高頭式の恩師、苗場山の開拓者

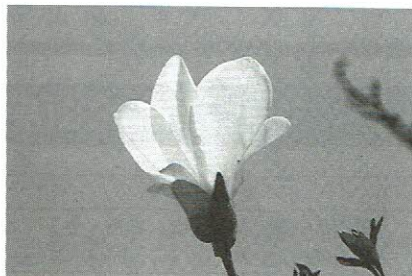
\*高頭式 越後の豪農であり、創設時の山岳会の会計に欠損がある場合、向こう10年間毎年10000円(当時の会費の10000人分)を提供する。但し10年経って自立しなければ解散すること、また万が一のことを考慮し、山岳会のために、養老保険1万円に加入することを確約したことが、現在まで語り継がれている。明治39年(1906)発行の「日本山岳志」は日本の山を網羅し、その中で志賀は山嶽諸説「日本のアルプス山に登るべし」を書いている。

## 第51回 春の自然保護研修会

新潟県山岳協会会長 阿部 信一 新潟県山岳協会自然保護委員長 本間 一人



ヤマネコノメ



タムシバ

開催日：5月22日(日) 時間：午後1時~ 会場：新潟市江南区横越公民館

講師：羽黒自然保護官事務所 坂本 万純氏 ☆飯豊の登山道整備について

講師：関川村村長 平田 大六氏 ☆山の話など

※自然保護委員会では加盟団体の皆さんを対象に春と秋の2回研修会を行ってきましたが、未組織登山者も多いことから平場で一般登山者も対象に研修会を開催したいと思いますので周知宣伝の程お願い申し上げます。周知宣伝について：新潟市教育委員会後援・日報紙上・各山岳会への案内・チラシ~(石井スポーツ・好日山荘等)

### 気象庁ホームページで閲覧できる主な情報

警報・注意報：災害の起こるおそれがあるとき、現象や程度、時間帯など(必要なときに随時発表)

気象情報：警報・注意報に先立つ注意喚起や警報・注意報の補足・解説など(必要なときに随時発表)

天気予報：明後日までの天気、風、降水確率、最高・最低気温などの予報(毎日5、11、17時に発表)

週間天気予報：明日から7日間の天気、降水確率、最高・最低気温などの予報(毎日11、17時に発表)

アメダス：降水量、風、気温、積雪深、日照時間(毎時更新)

天気図：高気圧や低気圧、前線の位置など(実況は3時間毎、24・48時間後の予想は12時間毎に発表)

噴火警報：火山噴火により重大な災害の起こるおそれがあるとき、現象や程度、警戒の必要な地域など(必要なときに随時発表)

# 新潟県山岳協会・監修 魅力いっぱい！新潟の山々

新潟県山岳協会の会員達が地元の利を生かして撮り、執筆した見ごたえのある『新潟100名山』・『新にいがた花の山旅』となっている。

新潟日報事業社 出版部 〒951-8131 新潟市中央区白山浦2-645-54 ☎025-233-2100

### 『新潟100名山』



◀ A5版・412頁  
○定価2730円(税込)

### 『新にいがた花の山旅』



◀ A5版・262頁  
○定価1680円(税込)

## 平成23年度 新潟県山岳協会事業予定 5月～7月

	5 月	6 月	7 月
	●22日 第1回理事会 横越・黒埼地区		
総務委員会	15日(日) ■日山協総会東京 ●婦人委員会について検討		25日 ●第58回弥彦山松明登山祭 ●第54回高頭祭
技術指導委員会		11日(土)～12日(日) ■日山指導委員総会 東京晴海 18日(土)～19日(日) ●岩登り講習会 新発田市 杉滝岩	
遭難対策委員会	●遭難対策委員会打ち合わせ会議	25日(土)～26日(日) ■日山協遭難対策委員会総会 奈良県	2日(土)～3日(日) ●安全登山講習会 三条市 ■全国山岳遭難対策協議会
自然保護委員会	22日(日) ●第51回春季自然保護研修会 横越黒埼地区	環境月間 登山道山小屋整備報告	
競技委員会	■北信越5県代表者会議 長野県	4日(土)～5日(日) ■リードジャパンカップ 山口国体リハーサル大会 山口市	16日(土)～17日(日) ■北信越国体 長野県山之内町
海外登山委員会	19日(土)～20日(日) ■日山協海外登山遭難対策研究会兼総会 栃木県		
ジュニア委員会			
会報編集委員会	10日 新山協ニュース発行 4月20日号(第283)	10日 新山協ニュース発行 5月20日号(第284号)	10日 新山協ニュース発行 6月20日号(第285号)